平成１０年度社会安全研究財団委託調査研究報告書

２１世紀の警察と市民の安全意識

警察と市民の望ましい関係形成をめざして

平成１１年３月

（１９９９年）

「社会生活とコミュニケーション」研究会

代表　　慶應義塾大学教授　岩男寿美子

平成１０年度社会安全研究財団委託調査研究報告書

２１世紀の警察と市民の安全意識

警察と市民の望ましい関係形成をめざして

平成１１年３月

（１９９９）

はじめに

２１世紀に向けて急速に変貌をとげる日本社会では、犯罪や暴力のあり方もまた大きく変化している。市民生活の安全を維持するためには、このような変化に対応した警察の役割が重要なことはいうまでもない。市民に信頼され、また市民の協力を得る警察を目指して警察はすでに様々な分野で改革に着手しているが、現状における一般市民の警察に対するイメージは必ずしも好転してはいない。その原因はどこにあるのだろうか。また両者のよりよい関係を構築していくにはどのような方策が有効なのだろうか。

市民と警察の間の心理的溝を埋め、両者が相互コミュニケーションに基づく信頼関係を構築するための新しい発想が必要であろう。本研究では警察と市民それぞれの立場でどのような変革が可能なのか、市民を対象としたアンケートによる意識調査とメディア情報の内容分析を行い、一般市民が抱く警察のイメージや安全意識の現状と、その形成過程におよぼすメディア情報の影響を明らかにしようとこころみた。また、上記の調査と並行して警察署の建物の構造、活動の地域的特徴などについて、首都圏の警察署の実地調査も行った。本報告書ではこれらの調査の結果に基づき、警察と市民の２１世紀に向けた両者の望ましいあり方を提言している。本報告が、警察と市民が協力するための新しいシステムづくりを進める際の参考資料となることを望んでいる。

なお、今回の調査にあたり、社会安全研究財団、ならびに調査にご協力くださった警視庁牛込署、戸塚署、池上署、大森署、神奈川県警川崎署、港北署、保土ケ谷署の関係者の方々など、多くの方々にお世話になった。ここに感謝を申し上げる次第である。

「生活とコミュニケーション」研究会

１９９９年３月末日

目次

はじめに …… 1

第一部　警察に関する意識調査

Ⅰ　調査概要

1．調査目的 …… 7
2．調査設計 …… 7
3．回答者の特性 …… 9

Ⅱ　調査結果の概要

1．警察・警官と市民の接触の現状 …… 13
2．警察に関するイメージ …… 16
3．警察とジェンダー …… 28
4．警察への協力 …… 32
5．警察のイメージアップ …… 39
6．警察の仕事への評価と今後の期待 …… 47
7．社会安全についての意識 …… 53
8．変化する社会と警察への期待 …… 57

第二部　メディア調査

Ⅰ　受け手調査

はじめに …… 69
1．方法 …… 73
2．結果の概要および考察 …… 74

Ⅱ　内容分析

1．方法 …… 83
2．結果の概要 …… 85
3．考察 …… 92

第三部　提言

1．市民のニーズに応える警察に向けて …… 97
2．女性警察官への期待 …… 100
3．ＮＰＯとの連携 …… 101

資料

警察に関する意識調査・調査票（単純集計）
メディア調査・内容分析シート

第一部

警察に関する意識調査

Ⅰ　調査概要

１．調査目的

２１世紀に向けて日本社会は、国際化、情報化、少子・高齢化、そして青少年非行と凶悪犯罪の増加など急速に変貌している。こうした変化に対応し、市民生活の安全を維持していくためには、市民と警察の間の心理的な溝を埋め、両者が相互コミュニケーションに基づく信頼関係を構築していく上での新しい発想が必要だと考えられる。

現時点での警察についての市民の意識を把握した上で、将来に向けて警察と市民それぞれの立場でどのような変革が可能かを具体的に検討するための基礎資料を得ることを目的とし以下のような内容を把握するための意識調査とする。

・市民の安全意識および自己責任についての認識の現状

・警察への期待

・警察のイメージ形成に寄与する要因

・一般市民が抱く警察官・警察組織のイメージ

２．調査設計

（１）調査期間　　１９９８年１１月２８日～１１月３０日

（２）調査地域

首都圏（３０キロメートル範囲内）

（３）調査対象

１５才から６４才の男女（警察関係者および身内に警察関係者がいる者を除く）からなるハイパーリサーチ・モニター登録者の名簿よりランダム抽出した８００名

（４）有効回収数

６８０　　（回収率　８５．０％）

（５）調査方法

ハイパーリサーチシステムによるオンラインサーベイ

（コンピュータ画面での質問と回答をオンラインで行う）

（６）質問項目

1. デモグラフィック項目（５項目）

   年齢，性別，結婚の状態，職業，同居家族人数

2. 警察イメージ（２０項目）

   「警察」・「公安」・「交番」・「男性警察官」・「女性警察官」

3. 警察官との会話経験（２項目）

4. 警察の利用しやすさ（４項目）

   「交番」，「警察署」

5. 女性警察官への期待（４項目）

6. 警察の業務への評価と期待（９項目）

   警備，交通取り締まり，地域パトロール，

7. 警察への協力（３項目）

   捜査協力時間，協力しやすさ，「親しみやすさ」と「厳しさ」

8. 警察のイメージアップへの効果評定（１１項目）

9. 社会安全についての認識と警察についての意識（４項目）

10. ２１世紀の日本社会の犯罪と警察（７項目）

11. 国家公安委員会についての認知（３項目）

3．回答者の特性

（1）性・年齢

年代	男性	女性	計	
１０代*	２８	２３	５１	* 15～19歳
２０代	８５	７１	１５６	
３０代	７４	７８	１５２	
４０代	７４	６８	１４２	
５０代	６３	７０	１３３	
６０代**	２３	２３	４６	* * 60～64歳
計	３４７	３３３	６８０	

平均年齢　　３８．９歳

（２）結婚の状態

	男性	女性	計
未婚	１０２	７３	１７５
既婚	２４１	２４３	４８４
離婚死別	４	１７	２１

（３）職業

事務・技術系勤め人	１２８
販売・労務系勤め人	７６
管理職（課長以上）	６３
商工自営・自由業	５１
学生	８６
専業主婦	１３９
パート・アルバイト	８０
無職	１９
その他	３８